

## Microsoft System Center 向けのアプリケーションパッチ管理を簡素化

オペレーティングシステムのパッチ配布は普通に行われていることですが、86%の脆弱性攻撃は、OS とは別のサードパーティ製ソフトウェアを標的にしています\*。驚いたことに、今日の危険に満ちたコンピューティング環境において、パッチ管理は決して「解決済み」の問題とはいえません。

Ivanti® Patch™ for Microsoft System Center は、Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) への投資を最大化し、Microsoft 以外の未パッチのサードパーティ製アプリケーションに起因するセキュリティリスクを軽減します。不要なインフラストラクチャやコストを追加することなくリスクを低く抑え、ソフトウェアを最新の状態に保ちます。

### SCCM を用いてリスクを軽減し、セキュリティを強化

インフラストラクチャに潜む脆弱性やリスクを軽減することにより、セキュリティ侵害でニュースの見出しを飾る事態を避けることができます。Ivanti Patch は、SCCM のパッチ機能をサードパーティ製アプリケーションのパッチ配布まで含めて拡張することにより、アプリケーションとパッチのギャップを解消します。

今やアプリケーションは、OS よりもネットワークにとって大きなリスクとなっています。Ivanti Patch は、Adobe (Acrobat Reader)、Apple (iTunes)、Oracle (Java)、Google (Chrome)、Firefox をはじめとする数百もの一般的なベンダー/アプリケーションにパッチを配布することにより、アプリケーションがもたらすリスクを軽減します。Java や Google Chrome といった最も困難とされるアプリケーションでも更新可能です。

\*National Vulnerability Database

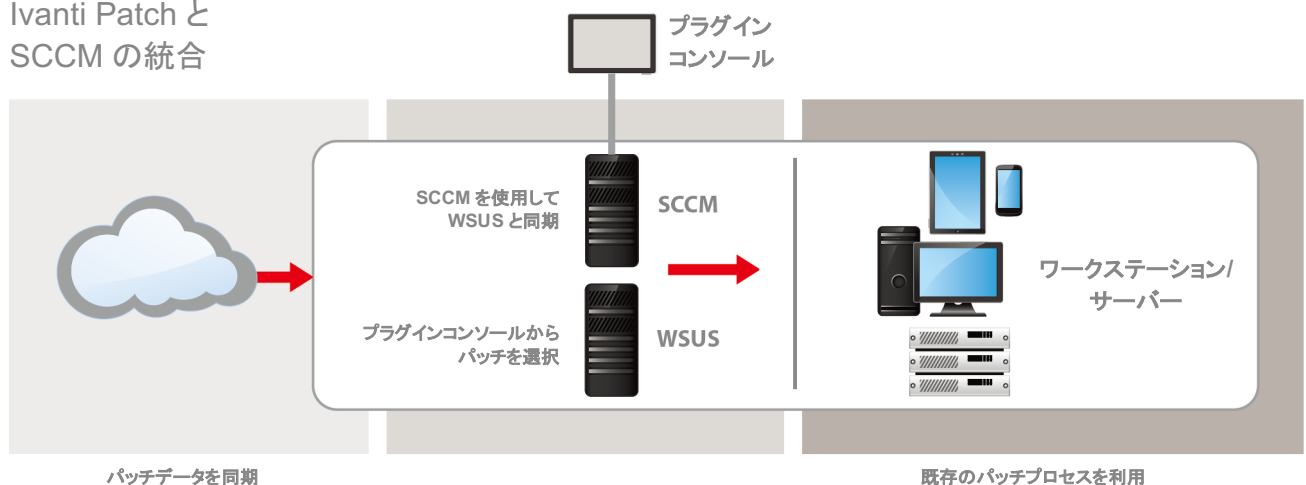
Ivanti には、企業内のアプリケーションへのパッチ配布での長年の経験があります。そのため、サードパーティ製アプリケーションに直ちに適用できる最も正確な事前検証済みパッチデータを提供することが可能です。エンタープライズソフトウェアに必要なパッチインストールを提供できるのは Ivanti だけです。パッチはサイレントに実行されます。また、エンタープライズバージョンのソフトウェアの更新のみが行われ、ツールバーインストールはスキップされます。そのため、個々のアプリケーションへのパッチ適用をエンドユーザーに任せる必要がなくなります。

### Microsoft System Center への投資を最大化

Ivanti Patch は、SCCM をアプリケーションのパッチ配布まで含めて拡張しますが、追加のプラットフォームやプロセスは不要です。SCCM コンソール向けの直感的な統合プラグインにより、SCCM 内から既存のワークフローを利用してアプリケーションアップデートを定義し、展開することができます。

Ivanti Patch は、パッチの提供開始から展開までの時間を大幅に短縮します。環境にアプリケーションを追加するに従って、システムを最新の状態に保つだけでもますます多くの時間が必要になります。Ivanti Patch は、ワークステーションやサーバー用のサードパーティ製アプリケーションのパッチを SCCM で定義する際に通常必要な手動ステップの多くをなくし、IT 部門の生産性向上を直ちに実現します。

## Ivanti Patch と SCCM の統合



# Ivanti Patch

FOR MICROSOFT SYSTEM CENTER

Ivanti Patch は、SCCM フレームワークと相まって、パッチコンプライアンスに関するレポートを柔軟に作成することが可能です。SCCM にすでに組み込まれているレポート機能により、コンプライアンス確保に必要なパッチプロセスに対する可視性が大幅に高まります。

## 複雑さを軽減しながら追加のインフラストラクチャやコストを回避

SCCM の導入にはすでに多大な時間とコストが費やされています。そのため、破棄するわけにはいきませんが、かといってインフラストラクチャやコンソールを追加する理由があるでしょうか。Ivanti Patch のネイティブ統合は、SCCM での OS のパッチに使用すると同じワークフローを利用して、サードパーティ製アプリケーションの更新を実行します。

SCCM 用の使いやすいプラグインインターフェイスにより、SCCM にすでに組み込まれているのと同じプロセス、操作、インフラストラクチャを使用することができ、アプリケーションアップデートの作成に必要なステップ数が削減されます。さらに、SCCM 内でのサードパーティ製アプリケーションのパッチ適用に対するシンプルなアプローチにより、費用のかかるコンサルタントや追加のサービスは不要です。

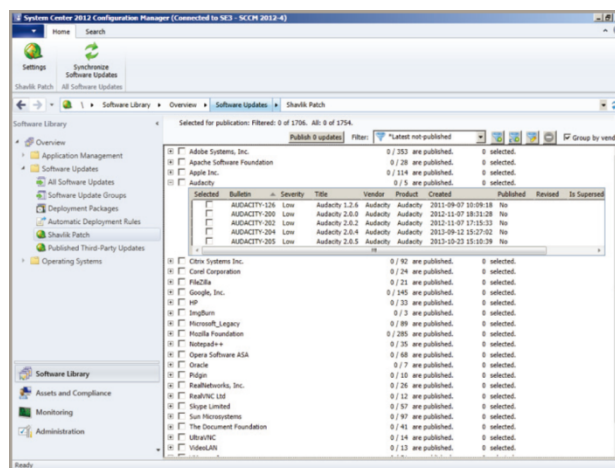
パッチデータは Ivanti Cloud からロードされ、ユーザーはパッチ情報を SCCM から直ちに表示できます。SCCM ソフトウェア更新パッケージにより、パッチをクリックして手動で展開することができます。あるいは、Ivanti Patch の自動化と SCCM の自動展開規則 (ADR) を組み合わせることにより、サードパーティ製アプリケーションの更新を完全自動化することも可能です。

## 機能

- ▶ インストールが困難なものも含め、数百もの一般的なアプリケーションにパッチ配布が可能
- ▶ SCCM 2012 コンソール用統合プラグイン
  - 使用可能なパッチの検索機能を備えたビュー
  - 公開/失効するパッチを選択
  - 複数の条件 (ベンダー、製品、IAVA (Information Assurance Vulnerability Alert) 番号など) に基づくパッチのスマートフィルタリング
- ▶ 企業ポリシーに応じてパッチをカスタマイズ
- ▶ 新しいパッチデータを自動的に確認してダウンロード
- ▶ 新しいパッチをビジネス要件に基づいてフィルタリングして自動的に公開
- ▶ コンプライアンス、監査、または展開前のスクリーニングのためのパッチメタデータを別途公開
- ▶ 新しいバージョンに置き換えられたパッチを失効
- ▶ アップデートを削除または再公開

## Microsoft System Center 向けのサードパーティパッチ配布を簡素化

- ▶ Windows Software Update Server (WSUS) を自動検出
- ▶ WSUS に公開されるすべての製品を表示、管理
- ▶ デジタル証明書管理 - 失効した証明書を再認証
- ▶ 10 カ国語に対応
- ▶ プロキシ認証に対応
- ▶ 切断されたネットワークに対応
- ▶ 素早く簡単なインストールで SCCM 構成を検証



システム要件については、  
<http://www.ivanti.co.jp/products/patch-management-for-sccm/>をご覧ください。  
対応するアプリケーションアップデートの最新リストについては、  
<http://www.ivanti.com/apps> をご覧ください。

## お問い合わせ先

詳細は、[Contact-Japan@ivanti.com](mailto:Contact-Japan@ivanti.com) 宛てにメールでお問い合わせください。